



2050年に向けたbpの取組

第30回 水素・燃料電池戦略協議会

2023年4月5日

免責事項



このプレゼンテーション資料は情報提供のみを目的として配布するものであり、bpの秘密情報に相当します。本資料は、いずれの記載事項についても助言または推奨するものではありません。また、BP p.l.c.またはその子会社（以下「BP」と総称します）により、またはBPを代表して、何らかの契約上の取決めを交わすことを提案し、または勧誘するものではありません。BPは、本プレゼンテーション資料または補足資料に記載される情報、仮説または分析の正確性、適切性、妥当性または完全性に関し、明示、黙示を問わず、いかなる表明、保証も行いません。BPは、かかる情報に関して一切責任を認めません。BPがお客様との間で締結する契約または取決めに関し、実際の条件が本プレゼンテーション資料に記載の取決めと異なる場合があります。BPはエネルギー関連商品の取扱いおよびトレーディングを行っており、本資料で論じた立場と必ずしも一致する立場を取るものではありません。

bp Japan事業概要



bp Japanは1960年の設立以来、様々な分野にわたって日本国内で事業を展開し、現在は約150人の陣容を擁しています。

Trading & Shipping

bpは世界有数のグローバルエネルギートレーダーとして、日本向けに原油、石油製品、LNG等を国内企業向けに供給しています。オイル&ガスチームはアジアパシフィック 地域において、国内石油事業者様や電力・ガス会社様との協業により、日本の一次 エネルギーの安定供給に貢献しています。

Lubricants



bpはカストロールブランドにて、国内の小売事業者様、車両整備事業者様、機械メーカー様を通じて、自動車を含む産業向けに潤滑油を供給しています。

Marine

bpはバイオ燃料を含む船舶用燃料や船舶用潤滑油を日本や国外にて、本邦船会社様に供給しています。

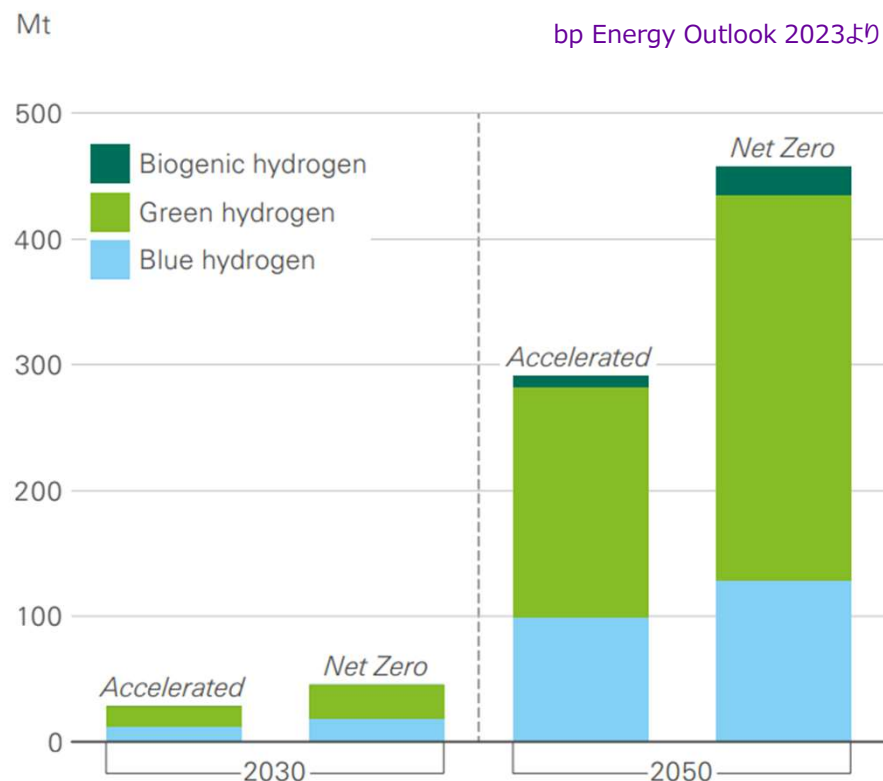
Offshore Wind

bpは丸紅様との協業を通じ、海外で培った知見を活用して国内の洋上風力事業に参画し、日本国内の再生可能エネルギー普及に貢献してまいります。

Low Carbon Integrated Solutions

bpは、海外で培った知見を活用し、水素、アンモニア、CCS、電力、カーボンクレジットなどを組み合わせたソリューションの提供を通じて、日本の脱炭素に貢献してまいります。

Global low-carbon hydrogen supply



International Oil Company から
Integrated Energy Company へ

from IOC to IEC



(1) Bioenergy includes biofuels marketing reported in convenience and mobility

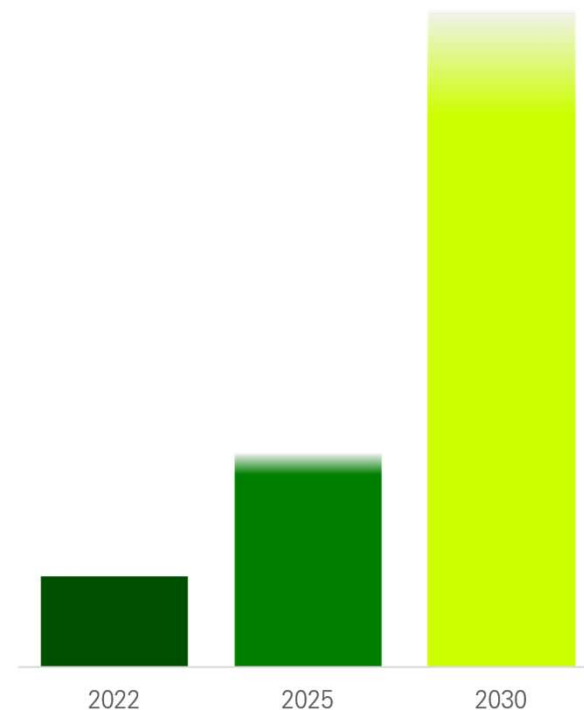
Transition Growth Engines への投資加速



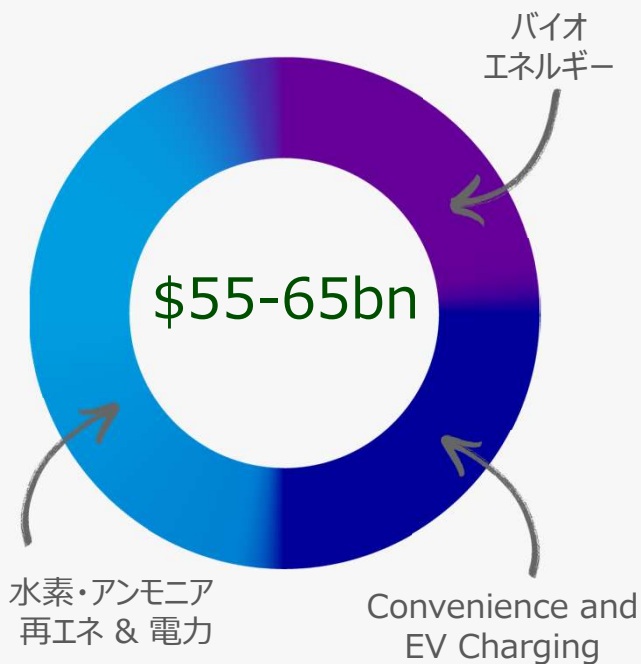
EBITDA \$bn

\$10-12bn²

Increased from >\$10bn



2023から2030までの
累積設備投資額



Up to **\$8bn**
incremental investment

期待収益と EBITDA

	期待収益 ¹	2030 EBITDA ^{*2}
バイオ エネルギー	>15%	>\$4 bn
コンビニエンス	>15%	>\$4 bn
EV 充電		
水素 アンモニア	二桁 (unlevered)	\$2-3 bn
再エネ & 電力	6-8% ³ (unlevered)	

(1) Expected return (IRR)

(2) 2030 EBITDA aim at \$70/bbl 2021 real and bp planning assumptions, and at the upper end of the relevant capex range

(3) Renewables

水素と再生可能エネルギー&電力への投資



2030 目標
\$2-3bn
 EBITDA*

水素 二桁 unlevered		再エネ 6-8% unlevered
期待収益 ¹		

~ \$ 30bn
 2023から2030までの累積投資額

水素

脱炭素化が困難な産業セクターにおける
 鍵となる技術

今後の急成長が期待されるものの、現時点で
 黎明期にあり、参入障壁が高い

再生可能エネルギー & 電力

両者を組み合わせることによるバリュードライバーの
 強化

大規模かつ複雑な洋上風力による
 さらなる収益への貢献

水素

国際的なリーディングポジションの確立

- bpが保有する自社製油所の自家消費水素からのオペレーション開始
- 北米・欧州における自社製油所設備のスケールアップによる地域ハブの構築
- 水素および水素派生品の輸出ハブ構築

Aim to deliver

0.5-0.7百万t/年

2030年までの水素製造量

再エネ & 電力

インテグレーションを通じた価値の創出

- 水素、トレーディング、EV、e-fuel等との組合せへの貢献にフォーカスした投資実行
- 洋上風力における知見の強化
- Lightsource bpの規模拡大：太陽光発電開発事業者、資金調達自立化

Aim to deliver

50GW net

developed to FID by 2030

Aim to deliver

~10GW net

installed capacity by 2030

(1) IRR

bpが開発中の水素プロジェクト



Indicative capacities accurate as of November 2022

当社の野心的な目標

To become a
Net Zero
company

2050年までに
世界がこの目標を達成できるように